

第20回ISOE運営委員会議事概要

- . 月 日 2010年11月15日(月)
- . 場 所 フィッツ・ウィリアム・カレッジ(英国、ケンブリッジ)
- . 出席者

[I S O E 幹部会]

- G. Abela(次期議長、フランス)、V. Holahan(副議長、米国)、水町(元議長、日本)、
- B. Okyar (O E C D / N E A)、J. Ma (I A E A)

[I S O E 技術センター]

- C. Shieber、L. D ascenzo、C. Badajoz、(ETC、欧州技術センター)、D. Miller、
- D. Lewis(NATC、北米技術センター)、林田(ATC、アジア技術センター)

[ワーキンググループ]

- S. Hennigor(データ分析ワーキンググループ議長)

[I S O E 加盟国代表]

- 金岡氏(中国電力)ほか約20名(合計13カ国)

. 主な議事概要

ISOE運営委員会は例年2～3日間開催されるが、本年は、引き続いて開催された国際シンポジウムの日程の関係から1日のみの開催となった。会議は、Simionov 議長(ルーマニア)欠席のため、Abera 次期議長(フランス)により進行された。

1. I S O E の加盟状況

2008年の規約改訂後の加盟更新状況が報告された。2010年11月現在、28カ国の65事業者、23カ国の規制機関が加盟更新している。データベース登録は、運転中原子炉401基、永久停止した原子炉81基、合計482基となっている。

2. データベース状況

2009年の線量データの登録状況が報告された。従来のACCESSを用いた入力に加えて、今年度よりオンラインの入力も可能となった。これまで登録済みの国では、オンライン入力によるデータ登録が10カ国、ACCESSを用いた登録が9カ国である。データベースの改良として、分析モジュールMADRASの機能拡充(作図種類の増加)、データベースの各項目に対する各プラントのデータ入力の有無をチェックするためのデータ完全性分析モジュールの作成等が行われた。

3. A L A R A シンポジウム

2010年は2回の地域シンポジウム(北米、アジア)が開催され、国際シンポジウム

がこの運営委員会に引き続いて開催される（約140人が参加予定）。シンポジウムでは放射線防護の技術的、あるいは運用上の経験の交換が行われた。

4. 2011年活動計画

事務局より2011年の活動計画案が報告され、承認された。データベースの改良等を継続するほか、デコミ専門家グループ及びソースターム管理（水化学）に関する専門家グループを設けることが決定された。

5. 幹部の交代

V. Simionov 議長及び V. Holahan 副議長の任期満了に伴い、幹部交代が行われた。G. Abela 次期議長（フランス、EDF）が新議長になり、新たな次期議長として、W. Harris 氏（米国、Exelon 社）が選出された。また、副議長には、T. Brock 氏（米国、NRC）と S. Djefal 氏（カナダ、CNSC）が選出された。

6. 今後の会合、シンポジウムの予定

2011年 5月23日（月）	ビューロー、技術センター会合（フランス）
2011年 5月24日（火）～26日（木）	WGDA（データ分析WG）会合（フランス）
2011年 11月7日（月）～8日（火）	WGDA（データ分析WG）会合（フランス）
2011年 11月8日（火）	ビューロー、技術センター会合（フランス）
2011年 11月9日（水）～10日（木）	ISOE運営委員会（フランス）
2012年 1月	2012年ISOE国際シンポジウム（米国）

以上